

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）ニホンダイガク	フリガナ）ショウガクブ	フリガナ）キンシュンキ
日本大学	商学部	金春姫

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）	フリガナ）イシガミアツコ	5	無
金ゼミ Team-Grit	石上温子		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
PowerPoint2016

研究テーマ（発表タイトル）
手ぶら観光

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在、日本を訪れる外国人旅行者が増加しており、さらに政府は東京オリンピックが開かれる 2020 年に年間 4000 万人を目指すという。しかし、現実には宿泊施設の不足や公共交通機関の整備など、外国人旅行者の受入体制は万全ではない。観光客の誘致で終わるのではなく、快適な観光体験を提供することで訪日需要を高めることが重要である。

そこで私たちは、快適な観光時間の提供という視点から「手ぶら観光」を促進するためのサービスを提案する。すでに観光庁においても推進されているが、大きな荷物を持ち歩く観光客の姿は依然として多く、改善されたとは言い難い。私たちは、新たな手荷物預かりサービスを提案するとともに「手ぶら観光」の認知度も高めていく。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

2011 年に 620 万人であった訪日外国人数は以降も増加傾向であり、2016 年には 2400 万人との統計が発表されている。こうしたなかで政府は「明日の日本を支える観光ビジョン」のスローガンのもと、外国人観光客の受入体制の整備を進めている。しかし、現状では急激な観光客の増加に対して受入れ整備が追いついておらず、十

分とはいえない。特に荷物預かり所の代表ともいえるコインロッカーは不足しており、旅行者自らが荷物を持ち観光するという実情がある。実際に新宿駅にてコインロッカーの空き状況調査を行ったところ、午前 9 時には 627 個空きがあったにも関わらず、午後 1 時から 3 時にかけては 10 個未満に減少している。また、外国人観光客を対象にコインロッカーに関する意見を求めたところ、既存のロッカーでは大きな荷物が入らない、そもそもロッカーの場所を把握しづらいなどといった回答を得た。

貴重な観光時間にストレスを感じることなく快適に過ごしてもらうためには、手荷物預かりに関する問題は改善されるべき重要な課題である。

3. 研究テーマの課題

観光客が最も利用しやすい荷物預り所はコインロッカーであるが、週末や長期休暇の観光ピーク時には不足するという事態が生じている。増設という案もあるが、特に小規模な駅における設置場所確保の問題や、テロや事件などの安全面を考慮すると容易ではない。また、コインロッカーでは規格外の荷物を預けられないことや、決済が現金もしくは交通系 IC カードに限られているなど外国人旅行者にとっては不便さも残る。どのようにしてストレスフリーな観光時間を提供できるかの観点から、コインロッカーに代わる新たなサービスが必要である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

コインロッカーの課題を解決する新たなビジネスモデルとして、「人が管理する手荷物預かりサービス」を提案する。これによる最大の利点は、荷物の大小に関わらず預けることができる点である。人が管理する施設を預りスペースとして利用するため、コインロッカーのように規格に制限されないことがない。

具体的には、新宿駅をターゲットエリアとし、ネットカフェの空きスペースを手荷物一時預かり所として利用する。ネットカフェをサービスの提供場所として提案した理由は 2 つある。1 つ目は利用者にとって場所の把握が容易であることだ。ネットカフェの多くは駅周辺に立地しており、アクセスの良さに富んでいる。また、店舗名で検索することが可能なため、地図アプリさえあれば簡単に位置を把握することができる。2 つ目は決済方法の幅が広がる点である。現金や交通系 IC カードのみならず、クレジットカードを使用することが可能なため決済時の利便性が高まる。さらに、これらに加えてインターネット、Wifi 環境が整っていることや、一時滞在先としての利用、漫画や雑誌を通して日本文化を体験したい外国人観光客の需要を取り込める可能性もある。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

新宿駅において実際に外国人観光客 20 人を対象に、コインロッカーについてのインタビューを実施した。また、コインロッカーなびを用いて、特に使用率が高いと予想した週末にコインロッカーの空き状況を調査した。その他にも、ネットカフェに取材をし、店内の混雑状況や外国人の利用状況についてデータを提供して頂いた。

6. 結果や今後の取り組み

私たちは、今後より多くの外国人旅行者に「手ぶら観光」を知ってもらい、ネットカフェにおける手荷物預かりサービスを利用してもらうため、サービスの認知度向上及び利用システムの改善に取り組む。

まず、認知度向上に関してはインターネットを通じて情報発信をすべきである。具体的にはトリップアドバイザーを使用したプロモーションである。これは、トリップアドバイザーが観光庁とすでに連携を始めていることや、月間利用者数が 3 億人を超えていることから、より効果的なアプローチが可能であると考えられるからだ。

次に利用者システムの改善については、専用サイトやアプリでの事前予約制を導入すべきである。事前予約システムを設置することで、わざわざ店舗に訪れて予約する手間がなくなり、預入サービスも確実に利用することができる。店舗側においても、事前に利用者情報や荷物についての詳細が把握可能となるため、運営の効率化が期待できる。また、このシステムを多言語対応にすることで世界各国の人々の利用を促すとともに、言語の壁を越えてサービスを提供することが可能となる。

以上の取り組みを行うことで、観光時に生じる不満が解消され、外国人旅行者の日本への好感度が高まることが期待できる。

7. 参考文献

- 観光庁「年別 訪日外客数, 出国日本人数の推移」
(https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/marketingdata_outbound.pdf, 2017 年 9 月 25 日アクセス)
- 国土交通省「平成 29 年度 手ぶら観光補助事業の募集開始」
(http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000319.html, 2017 年 9 月 25 日アクセス)
国土交通省「手ぶら観光の促進」
(http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_000069.html, 2017 年 9 月 25 日アクセス)
- 日本政府観光局「Hands-Free Travel」
(<http://www.jnto.go.jp/hands-free-travel/>, 2017 年 9 月 25 日アクセス)
- 観光庁「「手ぶら観光」サービス拠点を分かりやすく明示するための共通ロゴマークの使用開始について～第 1 弾として、全国 47 カウンターにおいて共通ロゴマークの運用をスタート～」
(http://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_000134.html, 2017 年 9 月 25 日アクセス)
- 観光庁「外国人旅行者の受入環境整備について」
(<https://www.mlit.go.jp/common/001119575.pdf>, 2017 年 9 月 25 日アクセス)
- 観光庁「訪日外国人旅行者の受入環境整備」
(<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/ukeire.html>, 2017 年 9 月 25 日アクセス)
- 警視庁「東京駅コインロッカー内死体遺棄事件」
(http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/smph/jiken_jiko/ichiran/ichiran_27/marunouchi15031.html, 2017 年 9 月 25 日アクセス)

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください